

当院に於ける特別の病室及び費用は下記の通りです。

【個室】

215、216、217、218、219号室 3,300円

313、315、316、317、318、319号室 3,300円

【特別個室】

211、212、213号室 5,500円

311号室 6,600円

※費用（税込）は、1日当たりです。

180日超の入院について

2002年10月1日から厚生労働大臣の定める所により
180日を超えて入院されている方の入院料が一部保険給付から外れる事となり、下記の料金を徴収する事となりました。なお、特別料金を請求させていただくかたには、事前にご連絡致します。

但し、患者様の病状により保険給付される場合もあります。
ご不明な点については、病院1階入院窓口へお気軽にお問合せ下さい。

1日 2,354円（内税10%）

迫田病院 院長

当院では、退院支援及び地域連携業務を行う病棟専従の職員を配置しておりますので、ご遠慮なくスタッフまでお声かけ下さい。

退院支援及び地域連携業務担当者

中村 有希

新名 香織

中島 美紀

上記不在の場合は、各スタッフまでお声かけ下さい。

迫田病院 院長

文 書 料

1	院内用紙での診断書・明細書	1, 100円
2	死亡診断書（市役所提出用）	2, 200円
3	生命保険関係死亡診断書（院内用紙も含む）	5, 500円
4	死体（胎）検案料	5, 500円
	（その他の慣行料金については診療報酬点数を自費請求とする）	
5	生命保険関係証明書	3, 300円
6	各種年金関係診断書	5, 500円
7	身体障害者認定用診断書 簡単なもの	3, 300円
	複雑なもの	5, 500円
8	後遺症認定診断書	5, 500円
9	長期療養証明書（様式7号）	1, 100円
10	交通事故関係 自賠償請求用診断書	4, 400円
	自賠償治療費明細書	3, 300円
	後遺症診断書	5, 500円
11	特定疾患 医療受給申請診断書	2, 200円
	継続療養証明書	2, 200円
12	生活保護申請書	1, 100円
13	意見書（事業所あて）	1, 100円
14	おむつ証明書	1, 100円
その他		
1	面談料 15分以内	3, 300円
	30分以内	5, 500円
	30分超	11, 000円
2	回答書料	5, 500円
3	支払証明書（入院・外来それぞれ1月につき）	110円

2025年5月現在（内税10%）

保険外負担に関する事項

1	病衣貸与代	1日当たり	88円	
	手術・検査等を行う場合の病衣貸与を除く。			
2	診療録等の開示	謄写料	コピー1枚	10円
		情報提供ならびに申請手数料	5,	500円
		要約書作成手数料	3,	300円
3	在宅医療に係る交通費	0km以上～1km未満	55円	
		1km以上～2km未満	110円	
		2km以上～3km未満	165円	
		3km以上～4km未満	220円	
		4km以上～5km未満	275円	
		5km以上～6km未満	330円	
		6km以上～7km未満	385円	
		7km以上～8km未満	440円	
		8km以上～9km未満	495円	
		9km以上～10km未満	550円	
4	他院より借りたフィルム返却時の郵送代		実費請求	
5	検査結果郵送時の切手代		実費請求	
6	自己利用目的によるレントゲンのコピー代	フィルム1枚	550円	
		CD-R1枚	1,	100円
7	付添寝具	折り畳みベッド	1日当たり	132円
		布団のみ	1日当たり	88円

2024年10月現在 (内税10%)

保険外負担に関する事項

8 各種予防接種費用

麻疹（はしか）・風疹混合	10,230円
麻疹（はしか）単独	6,886円
風疹単独	6,930円
ムンプス（おたふくかぜ）	7,084円
みずぼうそう	9,240円
肺炎球菌ワクチン（プレベナー13）	11,880円
肺炎球菌ワクチン（ニューモバックス）	8,547円
A型肺炎ワクチン	9,130円
B型肺炎ワクチン	6,336円
インフルエンザ	3,500円
日本脳炎	7,535円
帯状疱疹ワクチン	25,000円

※納入価格により金額の変更があります。

2024年10月現在（内税10%）

禁煙外来を行っています

当外来にご相談ください。

ニコチン依存症と診断され、一定条件を満たす方が当外来を受診される場合は保険が適用されます。

以下の条件を全て満たす方が対象です。

- ①ニコチン依存症と診断された方
- ②「1日の喫煙本数」×「喫煙年数」が
200以上の方
- ③すぐに禁煙したいと思っている方
- ④禁煙治療に同意された方

当院医師までご遠慮なくお声かけ下さい。

迫田病院 院長

院内感染対策に関する取組事項

1. 医療関連感染とは

医療関連感染とは院内感染とも呼ばれ、医療機関で治療を受けている間に起った感染のことを言い、時として退院後に感染症が発症する場合があります。入院時すでに持っていた菌によって発症する市中感染とは区別されます。病院は様々な病気を持った方が集まる場所ですから、当然感染の原因となる細菌やウイルスも多数存在しますので、院内感染を起こさないための対策がととても重要になります。

2. 感染対策の取り組み

当院では医療関連感染を予防していくために組織的な取組を行っています。病院長の諮問機関である感染対策委員会を設置し、医師や看護師・薬剤師・臨床検査技師など各専門職や事務部門など多職種で構成されたメンバーで感染管理に関する様々な検討をしています。また、感染に関する調査・分析や効果的な感染対策の指導を行うために感染管理の専任者を配置しています。さらに、患者さまに処置やケアを提供する機会が多い看護部には、感染対策の役割モデルを推進する看護部感染管理委員会を設け、院内感染の予防に努めています。

3. 感染管理専任者および感染対策メンバーの活動

感染制御認定医である病院長の支援のもと、感染管理専任者・薬剤師・臨床検査技師や看護部感染管理委員が中心となり、問題となる感染症発生の早期発見と適切な介入を目的として以下の活動を展開しています。

- 1 院内の感染症発生状況の把握と情報発信
- 2 抗菌薬使用のモニタリングと適正使用のための検討会
- 3 院内ラウンドによる適切な感染対策の指導
- 4 学会や院外研修会に参加し、最新の知見を院内へ情報発信
- 5 職員教育・研修会の企画、運営、評価

感染防止対策が適切に行われている病院は、安全で信頼できる病院です。患者さまが安心して治療に専念できるように活動を行っております。

迫田病院 院長

診療情報の提供および個人情報の保護に関するお知らせ

当院は、患者さまへの説明と納得に基づく診療（インフォームド・コンセント）および個人情報の保護に積極的に取り組んでおります。

診療情報の提供

- ◆ ご自身の病状や治療について質問や不安がおありになる場合は、遠慮なく、直接、担当医師または看護師に質問し、説明を受けてください。この場合には、**特別の手続きは必要ありません**。

診療情報の開示

- ◆ ご自身の診療記録の閲覧や謄写をご希望の場合は、遠慮なく、担当医師または「個人情報保護相談窓口」に開示をお申し出ください。開示・謄写に必要な実費をいただきますので、ご了承ください。

個人情報の内容訂正・利用停止

- ◆ 個人情報とは、氏名、住所等の**特定の個人を同定できる情報**を言います。
- ◆ 当院が保有する個人情報（診療記録等）が事実と異なるとお考えになる場合は、内容の訂正・利用停止を求めることができます。担当医師にお申し出ください。調査の上、対応いたします。

個人情報の利用目的

- ◆ 個人情報は以下の場合を除き、本来の利用目的の別表（玄関風除室に掲示）の範囲を超えて利用いたしません。
- ◆ 診療のために利用する他、病院運営、教育・研修、行政命令の遵守、他の医療・介護・福祉施設との連携等のために、個人情報を利用することがあります。また、外部機関による病院評価、学会や出版物等で個人名が特定されないかたちで報告することがあります。
- ◆ 当院は卒後臨床研修病院および医療専門職の研修病院に指定されており、研修・養成の目的で、研修医および医療専門職の学生等が、診療、看護、処置などに同席する場合があります。

ご希望の確認と変更

- ◆ 治療、外来予約（診察・検査・処置・指導等）や入院予定の変更、療養給付・保険証等の確認等、緊急性を認めた内容について、患者さまご本人に連絡する場合があります。ただし、事前に各科外来窓口または受付までお申し出があった場合は、連絡いたしません。
- ◆ 外来等での氏名の呼び出しや、病室における氏名の掲示を望まない場合には、お申し出下さい。ただし、事故防止・安全確保のためには、呼名および氏名の掲示が望ましいです。
- ◆ 電話あるいは面会者からの、部屋番号等の問い合わせへの回答を望まない場合には、お申し出下さい。
- ◆ 一度出されたご希望を、**いつでも変更することが可能です**。随時お申し出下さい。

相談窓口

- ◆ ご質問やご相談は、各部署責任者または以下の個人情報保護相談窓口（受付）をご利用下さい。

（医事課） 串間 直規
TEL 0985 (51) 3555

- 健康診断の結果等の健康管理に関する相談、健康管理に関するご相談に応じます。必要に応じ、専門の医療機関をご紹介します。
- 保健・介護・福祉サービスに関するご相談に応じます。
- 体調不良時等、患者様からの電話等による問い合わせに対応しています。（夜間・休日対応しています。）
連絡先 迫田病院 0985-51-3555

迫田病院 院長

当院では、苦情に関する相談窓口及び医療安全担当窓口を設置しておりますので、ご遠慮なくスタッフまでお声かけ下さい。

医療安全に関する相談窓口担当者

医療安全管理者 佐藤 朋子

その他、苦情に関する相談窓口担当者

事務長 古川 拓矢

看護部長 江藤 けさよ

上記不在の場合は、各スタッフまでお声かけ下さい。

迫田病院 院長

診療記録等の開示について

当院は、患者さまの病気について十分な説明をするように努めています。

「診療記録等の開示手続き」につきましては、下記担当者までお声かけ下さい。

担当 医事課 串間

<手術の施設基準における表示>

当院の1年間に行われた下記手術件数の実績

記

令和6年1月~令和6年12月

区分2

ア 靭帯断裂形成手術等 22件

区分4

別に掲げる手術件数 ※1

腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術(両側)14件、

腹腔鏡下胆嚢摘出術5件、

19件

※1に掲げる手術手技

胸腔鏡下交感神経節切除術(両側)、漏斗胸手術(胸腔鏡によるもの)、胸腔鏡下試験開胸術、胸腔鏡下試験切除術、胸腔鏡下胸管結紮術(乳糜胸手術)、胸腔鏡下縦隔切開術、胸腔鏡下拡大胸腺摘出術、胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術、胸腔鏡下肺切除術、胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術、胸腔鏡下良性胸壁腫瘍手術、胸腔鏡下肺縫縮術、胸腔鏡下食道憩室切除術、腹腔鏡下食道憩室切除術、胸腔鏡下先天性食道閉鎖症根治手術、胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術、縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術、腹腔鏡下食道アカラシア形成手術、腹腔鏡下食道静脈瘤手術(胃上部血行遮断術)、胸腔鏡下(腹腔鏡下を含む)横隔膜縫合術、胸腔鏡下心膜開窓術、不整脈手術[左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるものに限る)に限る]腹腔鏡下リンパ節群郭清術(骨盤及び側方に限る)、腹腔鏡下ヘルニア手術、腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術(両側)、腹腔鏡下試験開腹術、腹腔鏡下試験切除術、腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術、腹腔鏡下大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術、腹腔鏡下胃、十二指腸潰瘍穿孔縫合術、腹腔鏡下胃吊上げ固定術(胃下垂症手術)、胃捻転症手術、腹腔鏡下胃局所切除術、腹腔鏡下胃切除術、腹腔鏡下噴門側胃切除術、腹腔鏡下胃全摘術、腹腔鏡下食道下部迷走神経切断術(幹迷切)、腹腔鏡下食道下部迷走神経選択的切除術、腹腔鏡下胃腸吻合術、腹腔鏡下幽門形成術、腹腔鏡下噴門形成術、腹腔鏡下食道噴門部縫縮術、腹腔鏡下胆管切開結石摘出術、腹腔鏡下胆嚢摘出術、腹腔鏡下総胆管拡張症手術、腹腔鏡下肝嚢胞切開術、腹腔鏡下脾固定術、腹腔鏡下脾摘出術、腹腔鏡下腸管癒着剥離術、腹腔鏡下腸重積症整復術、腹腔鏡下小腸切除術、腹腔鏡下虫垂切除術、腹腔鏡下結腸切除術、腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術、腹腔鏡下全結腸・直腸切除・肛門吻合術、腹腔鏡下人工肛門造設術、腹腔鏡下腸瘻、虫垂瘻造設術、腹腔鏡下腸閉鎖症手術、腹腔鏡下人工肛門閉鎖術(悪性腫瘍に対する直腸切除術後のものに限る)、腹腔鏡下腸回転異常症手術、腹腔鏡下先天性巨大結腸症手術、腹腔鏡下直腸切除・切断術、腹腔鏡下直腸脱手術、腹腔鏡下鎖肛手術(腹会陰、腹仙骨式)、腹腔鏡下副腎摘出術、腹腔鏡下副腎髓質腫瘍摘出術(褐色細胞腫)、腹腔鏡下副腎悪性腫瘍手術、腹腔鏡下腎部分切除術、腹腔鏡下腎嚢胞切除縮小術、腹腔鏡下腎嚢胞切除術、腹腔鏡下腎摘出術、腹腔鏡下腎(尿管)悪性腫瘍手術、腹腔鏡下腎盂形成手術、腹腔鏡下移植用腎採取術(生体)、腹腔鏡下膀胱部分切除術、腹腔鏡下膀胱脱手術、腹腔鏡下尿管摘出術、腹腔鏡下膀胱内手術、腹腔鏡下尿失禁手術、腹腔鏡下内精巣静脈結紮術、腹腔鏡下腹腔内停留精巣陰嚢内固定術、腹腔鏡下造腔術、腹腔鏡下子宮内膜症病巣除去術、腹腔鏡下子宮筋腫摘出(核出)術、腹腔鏡下子宮腔上部切断術、腹腔鏡下腔式子宮全摘術、腹腔鏡下広靭帯内腫瘍摘出術、子宮付属器癒着剥離術(両側)(腹腔鏡によるもの)、卵巣部分切除術(腔式を含む)(腹腔鏡によるもの)、卵管結紮術(腔式を含む)(両側)(腹腔鏡によるものに限る)、卵管口切開術(腹腔鏡によるもの)、腹腔鏡下多嚢胞性卵巣焼灼術、子宮付属器腫瘍摘出術(両側)(腹腔鏡によるもの)、卵管全摘除術、卵管腫瘍全摘除術、子宮卵管留血腫手術(両側)(腹腔鏡によるもの)、腹腔鏡下卵管形成術、子宮外妊娠手術(腹腔鏡によるもの)、性腺摘出術(腹腔鏡によるもの)